

# LOVE

愛に満ちた利他の精神で愛が溢れる未来へ



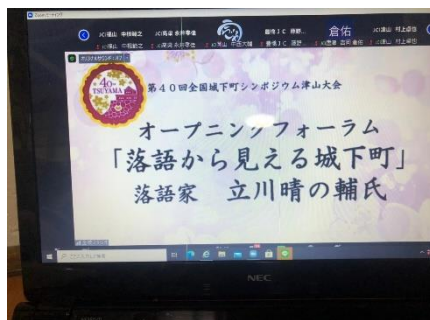
愛に満ちた利他の精神で愛が溢れる未来へ

## 【特集】

- ・全国城下町シンポジウム津山大会 10/2
- ・公益社団法人日本青年会議所  
第70回全国大会とちぎ宇都宮大会 10/7~10
- ・一般社団法人糸島青年会議所創立45周年式典 10/17
- ・10月例会 10/21
- ・プレジデンシャルリース
- ・ゆめのかたちアーカイブ

# 全国城下町シンポジウム津山大会

～2021年10月2日（土）～



コロナウイルスの影響で2度の延期に加え、開催自体が危ぶまれる中、Webでの配信という形で開催されました。オープニングフォーラムでは落語家の立川晴の輔さんが津山の城下町を落語家という視点からどういう風に見えるかを笑いを交えて講演されました。メインフォーラムでは三村正幸さんにより津山城の基礎知識、津山城のすごいところ、津山城の魅力について解説されました。私たちの住みゆく唐津においても立派な天守閣を有する唐津城が存在し、第27回全国城下町シンポジウム開催をさせていただきました。その際テーマとして掲げられた「いま、日本病を撃て」を改めて見させていただくと、日本のみならず全世界において病に侵されています。いち早くこの病と共存できる日々を願います。最後に、視聴がまだの方はYouTubeにて配信されてますのでご視聴下さい。また、来年の全国城下町シンポジウムは福山市での開催となりますので是非ご参加ください。

# 公益社団法人日本青年会議所 第70回全国大会とちぎ宇都宮大会

～2021年10月7日～10日（日）～



第70回全国大会とちぎ宇都宮大会が開催されました。大会テーマ：真に持続可能な輝ける未来へ～それぞれの地域が質の高い個性のもとに輝き、70周年の集大成のもと、今後起こりうるあらゆる事柄と共生していく真に持続可能な輝ける未来へ～「輝きのはじまり」というテーマのもと開催される京都会議にて「真に持続可能な日本の創造」を実現するべくJCI日本が進める政策の共有をすることで、JCメンバー、カウンターパート等と共鳴し意識の共有をはかり、JCI日本はあらゆる事柄と共生するニューノーマル時代における日本の持続可能な地域を作りながら質的価値を創造し、クオリティ国家の形成に向けた政策の発信をするというものでした。

本年度の全国大会も新型コロナウイルスの感染拡大によりWeb開催となり、唐津青年会議所多くのメンバーも現地参加を楽しみにしておりましたが70周年記念大会式典・卒業式をパブリックビューイングで視聴し、卒業生をお祝いしました。来年の全国大会は大分の地で開催されます。近県での開催となりますので多くのメンバーで参加をできればと思います。

# 一般社団法人糸島青年会議所 創立45周年式典

～2021年10月17日(日)～



一般社団法人糸島青年会議所創立45周年式典が2021年10月17日(日)牛原公善社メモリアル伊都国前原斎場にて開催されました。先輩諸兄が歩んで来られた「明るい豊かな社会の実現」に向けた理念を脈々と継承されてこられたことに感銘を受けました。我々は来年60周年を迎えますが、創立からの歩みを振り返り、今を生きる責任世代としてどうあるべきか改めて考えさせられました。今回、糸島青年会議所創立45周年式典を拝見させていただき大変参考になる事が多く、唐津青年会議所60周年に向けとても勉強になる式典でした。周年へ向け唐津青年会議所メンバー一同歩みを進めていきますので、OB会員の皆さまご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。この度は、式典開催誠にありがとうございました。

## 祝！プレジデンシャルリース導入



で愛が溢れる未来へ

唐津青年会議所にも60周年を迎えるにあたりプレジデンシャルリースの導入がなされました。今後は唐津青年会議所の歩みと共に歴史を刻んでいきます。

プレジデンシャルリースとは・・・。  
バッジは役職者に貸与されるものですが、プレジデンシャルリースが継承される人はもっと限られています。

JCIの会頭、NOMの会頭、LOMの理事長と組織の代表(President)しか継承することを許されていません。組織によっては、歴代の継承者以外が触ることすら許されていない場合があります。それほど重いものであり、JCの組織を代表するものとして、JCの哲学と理念を体現する人間となることが殊更期待されているのです。



# 10月例会

～2021年10月21日（木）～



担当地球市民委員会による10月例会「原点回帰～グローバルな視点を持ち、愛が溢れる未来へ想いをつなごう～」をテーマに開催されました。今年度地球市民委員会では、麗水交流の歴史の足跡をたどり交流への理解を深めてきました。10月例会では、麗水JCとの交流の原点にある想いに焦点を当てた内容となり、1971年、姉妹締結当時の実働されていた江頭紘一OBをお招きし、当時の貴重な経験を伝えていただきました。担当委員会メンバーは、何度も江頭OBと打ち合わせを重ね当日を迎えました。「違いを認め合う」という江頭OBの言葉が胸に刺さり、改めて人と人との繋がりを考える良い機会となりました。

10月例会を終えて…担当委員会より  
 県内JC5LOM、糸島JCよりオブザーブいただき本当にありがとうございました。貴重な交流の歴史を聞いていただけたことにより近隣JCの皆さまにも良い影響を与えることができたのではないかと考えております。運営面ではご不便をおかけした箇所もありましたが、チャーターメンバーである江頭先輩の想いを現役メンバーに伝えられたことは、非常に意味があったように感じています。これからも麗水青年会議所、唐津青年会議所、両JCの絆がより一層強固なものとなるよう地球市民委員会として活動して参ります。ありがとうございました！

## ゆめのかたちアーカイブ



現役会員の皆さん、コロナ禍の大変な中での活動お疲れ様です。

「想、決断、前進～To The Next Stage～」をスローガンに掲げ、50周年の節目を経験させて頂きました。毎月の例会や委員会としての事業構築と同時に実行委員会としての担いが重なり、当時の会員は迷走と混乱で溢れた日々でした。経験値のある理事でさえも、根をあげる寸前の状態だったかと思ひ返します。主観的な評価で申し訳ありませんが、全ての事業が滞りなく完了した事は、全ての会員のベクトルが同じ方向に向いていた結果だと思ひます。当時の実行委員長である富田裕樹OBの牽引力が強かった事もありますが、各理事の日々の行動と言葉に想いが宿り、全会員が「過去への感謝」と「未来への希望」を胸に、責任を持って「繋ぐ」事への行動をして頂きました。

60周年を迎えるにあたり、現段階では活動環境の不都合さからの温度差があるかと思ひます。その様な状況ではありますが、私の理事長所信から抜粋した以下の言葉を送ります。今の私たちが、この時代に必要な人材として生かされている事に感謝し、今しかできない、今だからできる事を全うしましょう。「利他の精神」を忘れる事無く、時代の責任者として青年経済人として、JAYCEEとして日々の活動をする事は、必ず自分自身と唐津青年会議所の財産になると確信します。節目を担える時代にいる事は、御自身の価値と考えて行動される事をお勧め致します。結びになりますが、今後の唐津青年会議所の更なる発展を御祈念申し上げます。

森晋策OBよりいただきました。